

グローバル・スペース株式ファンド (年2回決算型)

運用報告書（全体版）

第9期（決算日 2025年12月8日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

「グローバル・スペース株式ファンド（年2回決算型）」は、2025年12月8日に第9期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申しあげます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2021年6月9日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル・スペース株式ファンド（年2回決算型）	「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・スペース株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル・スペース株式ファンド（年2回決算型）	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル・スペース株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 基準価額水準が1万円（1万口当たり）を超えてる場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

<645034>

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター

電話番号：0120-25-1404

午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額					ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)	株組入比率	純資産額
	(分配落)	税分	込配	み金	期騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円		
5期(2023年12月7日)	9,106	0	6.2	162.45	17.9	98.4	19,493	
6期(2024年6月7日)	9,935	0	9.1	211.30	30.1	98.5	17,830	
7期(2024年12月9日)	10,083	2,300	24.6	218.44	3.4	95.2	14,624	
8期(2025年6月9日)	10,547	0	4.6	270.41	23.8	98.4	16,999	
9期(2025年12月8日)	11,626	3,000	38.7	325.06	20.2	98.2	20,417	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、ファクトセット社が開発した世界の宇宙・衛星関連企業の株式で構成された米ドルベースの指数を、アモーヴァ・アセットマネジメントが円換算しました。主に1) 商業航空宇宙機器製造、2) 防衛航空宇宙機器製造、3) 衛星製造業者およびサービス・プロバイダー、4) 実現技術サプライヤー関連企業を中心としています。なお、設定時を100として2025年12月8日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額			ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)	(参考指數)	株組入比率
		騰落率	騰落率			
(期首) 2025年6月9日	円 10,547	% —	% 270.41		% —	% 98.4
6月末	11,512	9.1	280.02		3.6	97.8
7月末	13,097	24.2	300.05		11.0	97.8
8月末	12,995	23.2	298.57		10.4	97.6
9月末	13,951	32.3	321.31		18.8	98.2
10月末	15,803	49.8	341.28		26.2	98.0
11月末	14,229	34.9	325.92		20.5	97.9
(期末) 2025年12月8日	14,626	38.7	325.06		20.2	98.2

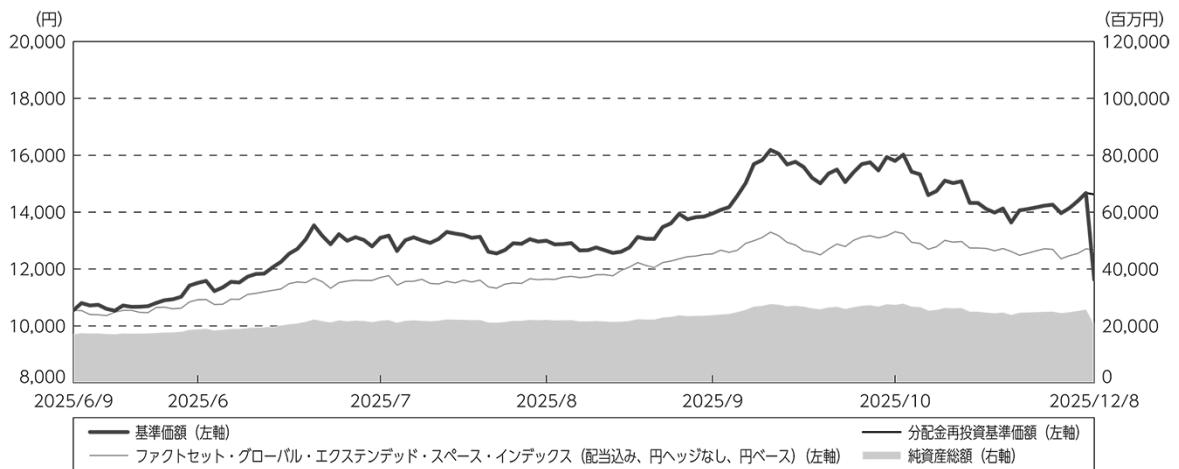
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2025年6月10日～2025年12月8日)

期中の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)は、期首(2025年6月9日)の値が基準価額となるように指標化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)は当ファンドの参考指標です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・ A I (人工知能)導入と投資が加速していること。
- ・ 高度な半導体試験への需要が増加したこと。
- ・ 予算法案の通過に伴なって米国連邦政府の防衛費が増加し、自律型技術に重点が置かれていること。

<値下がり要因>

- ・競争激化により衛星・通信分野に逆風が吹いていること。
- ・米国の関税政策の変更に伴う不確実性が高まったこと。

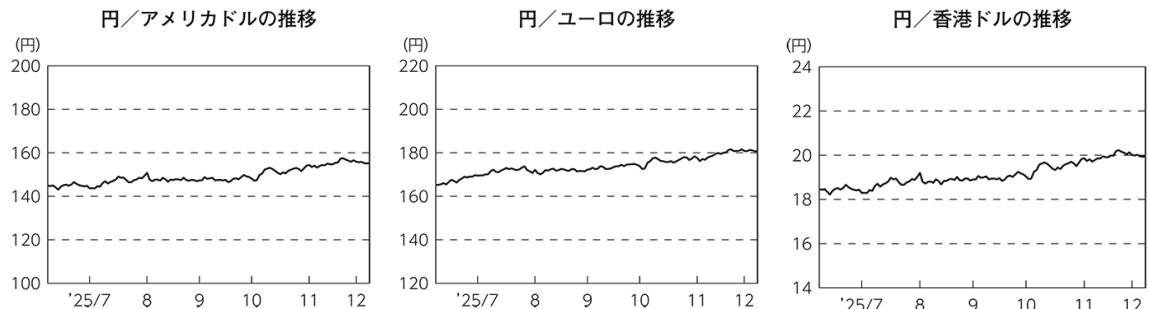
投資環境

(株式市況)

世界的主要株式市場は、期間の初めと比べて上昇しました。複数の貿易関税の停止・交渉の進展が好感されました。米国連邦準備制度理事会（F R B）は、2025年9月と10月の米国連邦公開市場委員会（F O M C）で段階的な金融緩和サイクルを再開しました。暗号資産価格の推移は不安定で、10月に史上最高値を更新した後は売り圧力に押されました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行なっていません。

(グローバル・スペース株式マザーファンド)

期間中の主な投資行動は下記の通りです。

当ファンドでは、ドアダッシュ（消費者サービス）を新規に組み入れました。自律走行ロボットやドローンは2030年までに巨額の配達収益を生み出す可能性があります。同社は、自律配送技術への投資を進めており、ドローンや地上ロボットのプロバイダーとの提携や、自社製の自律走行ロボットの開発を行なっています。

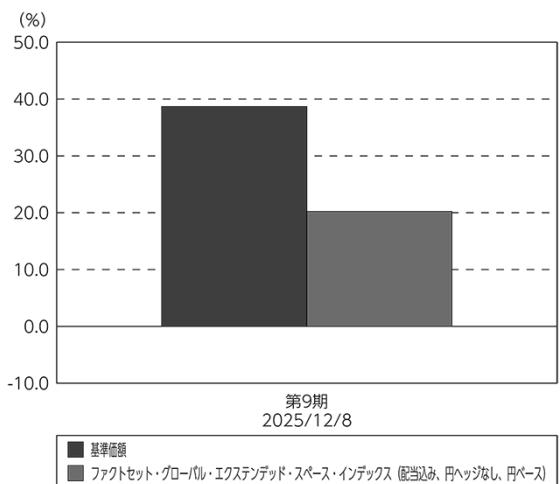
一方、アンシス（ソフトウェア・サービス）を全売却しました。期間中に米国のソフトウェア企業による同社の買収が最終承認を受ける可能性が高まったためで、売却資金をA I の恩恵をより直接的かつ大きく享受できると予想している半導体銘柄に再配分しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第9期	
	2025年6月10日～	2025年12月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	3,000	20.511%
当期の収益	2,974	
当期の収益以外	25	
翌期繰越分配対象額	1,626	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・スペース株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（グローバル・スペース株式マザーファンド）

当ファンドでは、宇宙産業は「離陸」目前と考えています。かつては独占企業主体且つ官僚的な業界でしたが、ロケットと人工衛星にかかるコストの下落により、現在ではそれが根底から覆されようとしています。ディープラーニング（深層学習）、モバイルコネクティビティ（無線接続）、センサー、3Dプリンティング、ロボット工学などの進歩の結果、これまでに増加していた事業コストが減少に転じ始めており、これらによって、今後は人工衛星の打ち上げや、着陸が可能なロケットの開発などが劇的に増加する可能性があります。実際、地球の周回軌道に打ち上げられ作動している人工衛星は、2024年末時点での10,000基を超えていました。

衛星利用測位システム（GPS）ナビゲーションからクレジットカードの迅速なオーソリゼーション（利用枠確認）まで、人工衛星を経由するデータはすでに人々の目に見えないところで日常生活の基盤になっており、先進的な宇宙・衛星技術が提供するソリューションへの依存度は、これからますます高まることになるとみています。当ファンドでは、物流や警備、農業、電気通信、ドローンなどのシステムを劇的に変革し、そして、人類を火星に送り込むことまでも予想されているこの新しい宇宙時代へと人々を導く企業に投資し、その成長を享受したいと考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

○1万口当たりの費用明細

(2025年6月10日～2025年12月8日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 131	% 0.960	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(63)	(0.466)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(63)	(0.466)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(4)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.012	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(2)	(0.012)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.001)	
(d) その他の費用	3	0.021	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用等）	(2)	(0.013)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
合計	136	0.994	
期中の平均基準価額は、13,597円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

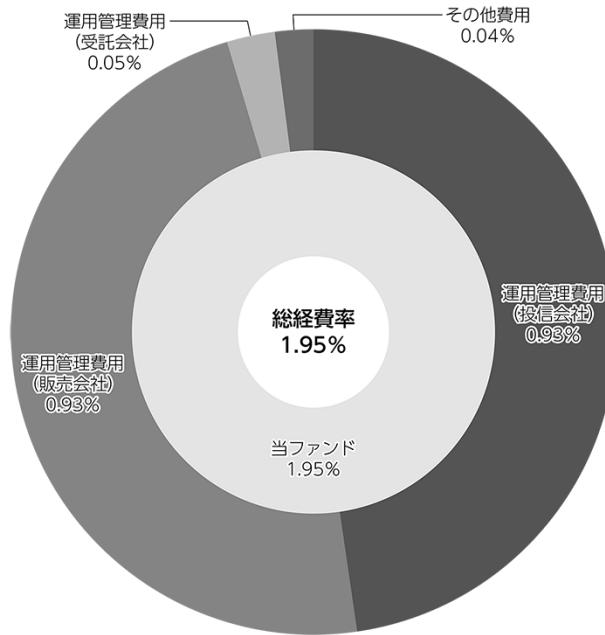
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年6月10日～2025年12月8日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
グローバル・スペース株式マザーファンド	千口 463,704	千円 1,521,234	千口 1,487,967	千円 5,161,016

○株式売買比率

(2025年6月10日～2025年12月8日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	グローバル・スペース株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	31,812,277千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	62,159,298千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.51

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2025年6月10日～2025年12月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2025年6月10日～2025年12月8日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年6月10日～2025年12月8日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年12月8日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
グローバル・スペース株式マザーファンド	千口 6,593,821	千口 5,569,558	千円 20,177,954

(注) 親投資信託の2025年12月8日現在の受益権総口数は、17,621,527千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年12月8日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
グローバル・スペース株式マザーファンド	千円 20,177,954	% 77.8
コール・ローン等、その他	5,759,010	22.2
投資信託財産総額	25,936,964	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル・スペース株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(62,231,649千円)の投資信託財産総額(69,012,765千円)に対する比率は90.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=155.24円、1ユーロ=180.81円、1香港ドル=19.95円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年12月8日現在）

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	25,936,964,779
グローバル・スペース株式マザーファンド(評価額)	597,985,761
未収入金	20,177,954,935
未収利息	5,161,016,084
未利回り	7,999
(B) 負債	5,519,896,836
未払収益分配金	5,268,433,506
未払解約金	30,241,910
未払信託報酬	217,804,559
その他未払費用	3,416,861
(C) 純資産総額(A-B)	20,417,067,943
元本	17,561,445,023
次期繰越損益金	2,855,622,920
(D) 受益権総口数	17,561,445,023口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,626円

(注) 当ファンドの期首元本額は16,117,831,170円、期中追加設定元本額は2,323,601,482円、期中一部解約元本額は879,987,629円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.1626円です。

○損益の状況（2025年6月10日～2025年12月8日）

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	1,020,132
(B) 有価証券売買損益	1,020,132
売買益	6,747,774,284
売買損	6,968,232,889
(C) 信託報酬等	△ 220,458,605
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 221,221,420
(E) 前期繰越損益金	6,527,572,996
(F) 追加信託差損益金	1,095,646,546
(配当等相当額)	500,836,884
(売買損益相当額)	(258,941,357)
(G) 計(D+E+F)	(241,895,527)
(H) 収益分配金	8,124,056,426
次期繰越損益金(G+H)	△ 268,433,506
追加信託差損益金	2,855,622,920
(配当等相当額)	500,836,884
(売買損益相当額)	(259,769,083)
分配準備積立金	(241,067,801)
	2,354,786,036

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2025年6月10日～2025年12月8日の期間に当ファンドが負担した費用は66,688,787円です。

(注) 分配金の計算過程（2025年6月10日～2025年12月8日）は以下の通りです。

項目	2025年6月10日～2025年12月8日
a. 配当等収益(経費控除後)	56,458,233円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	6,471,114,763円
c. 信託約款に定める収益調整金	500,836,884円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,095,646,546円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	8,124,056,426円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	4,626円
g. 分配金	5,268,433,506円
h. 分配金(1万口当たり)	3,000円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	3,000円
----------------	--------

○お知らせ

約款変更について

2025年6月10日から2025年12月8日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第16条）
 - ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。（第59条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

グローバル・スペース株式マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日 2025年6月9日）
(2024年6月8日～2025年6月9日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2018年8月13日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、宇宙関連ビジネスを行なう企業および宇宙関連ビジネスの恩恵を受ける企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。

株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となつたときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<638943>

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)		株組入比率	純資産額
		期騰落率	(参考指數)		
3期(2021年6月7日)	円 18,233	% 48.7	119.84	% 28.0	% 99.6 百万円 30,516
4期(2022年6月7日)	15,980	△12.4	142.85	19.2	99.5 60,083
5期(2023年6月7日)	16,103	0.8	165.68	16.0	99.5 57,274
6期(2024年6月7日)	19,052	18.3	254.08	53.4	99.3 48,079
7期(2025年6月9日)	25,552	34.1	325.15	28.0	99.3 48,199

(注) ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)は、ファクトセット社が開発した世界の宇宙・衛星関連企業の株式で構成された米ドルベースの指數を、日興アセットマネジメントが円換算したものです。主に1) 商業航空宇宙機器製造、2) 防衛航空宇宙機器製造、3) 衛星製造業者およびサービス・プロバイダー、4) 実現技術サプライヤー関連企業を中心としています。なお、設定時を100として2025年6月9日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)		株組入比率
		騰落率	(参考指數)	
(期首) 2024年6月7日	円 19,052	% —	254.08	% — 99.3
6月末	19,310	1.4	256.22	0.8 99.2
7月末	18,576	△2.5	252.04	△0.8 99.2
8月末	17,865	△6.2	248.55	△2.2 99.6
9月末	18,760	△1.5	246.79	△2.9 99.1
10月末	20,483	7.5	266.84	5.0 99.3
11月末	23,838	25.1	262.74	3.4 99.3
12月末	25,826	35.6	271.93	7.0 99.1
2025年1月末	25,915	36.0	276.02	8.6 99.3
2月末	23,035	20.9	273.28	7.6 99.2
3月末	21,810	14.5	284.75	12.1 99.1
4月末	21,888	14.9	281.43	10.8 99.2
5月末	24,502	28.6	315.92	24.3 99.8
(期末) 2025年6月9日	25,552	34.1	325.15	28.0 99.3

(注) 謄落率は期首比です。

○運用経過

(2024年6月8日～2025年6月9日)

基準価額の推移

期間の初め19,052円の基準価額は、期間末に25,552円となり、騰落率は+34.1%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

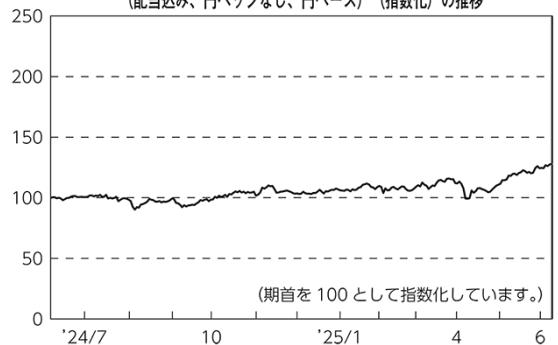
- ・米国の宇宙探査への政治的な支持を受けて、宇宙関連株に対する市場の期待が高まったこと。
- ・人工知能（AI）が様々な業種に浸透し、普及が拡大したことによって、幅広い業種の企業が恩恵を受けたこと。

<値下がり要因>

- ・米国政権による関税政策の発表を受けて、株式市場が不安定になったこと。
- ・一部の保有銘柄で、企業収益が市場予想を下回るなど苦戦したこと。
- ・金利感応度の高い保有銘柄にとって逆風となる市場環境となったこと。



基準価額（指数化）の推移

ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス
(配当込み、円ヘッジなし、円ベース) (指数化) の推移

(株式市況)

期間中の世界の株式市場は、ボラティリティ（変動性）が高まりました。2024年8月に、米国の経済指標が市場予想を下回ったことや為替市場で円が急上昇したことなどを受けて市場は乱高下し、高利回り投資に対する売り圧力が強まると下落しました。しかし、米国連邦準備制度理事会（F R B）が9月に利下げを実施して他の主要中央銀行に続くと、株式市場はほぼ全域で上昇しました。その後も、ボラティリティが高まったものの、米国の大統領選挙を受けて規制緩和や税負担の軽減が予想されるなか、市場全体にとって好ましい環境が期待されたことから上昇しました。しかし2025年に入ると、米国政権による追加関税の発表が市場全体の売りにつながり、中国の報復関税実施によって状況はさらに悪化しました。こうした困難な状況を受けて、期間中はディフェンシブセクターが相対的に善戦しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



ポートフォリオ

期間中の主な投資行動は下記の通りです。

当ファンドでは、A I ハードウェア市場の大部分を獲得していくとみているアドバンスト・マイクロ・デバイセズ（半導体・半導体製造装置）を新規に組み入れました。宇宙のテーマにおいて、A I 技術の宇宙分野への活用が重要視されており、A I ワークロードの拡大は重要な基幹技術であることから、加速するコンピューティングの供給を分散化できる同社の能力は不可欠といえます。当ファンドでは、航空宇宙や防衛ソリューションの両方を支える同社のデータセンターや最先端のコンピューター・アプリケーションを有望視しています。さらに、米国半導体メーカーの買収によって、現場で回路の書き換えが可能な集積回路であるF P G Aの能力を高めており、この分野で大きく貢献していく体制を強化していると評価しています。

また、Intuitive Machines（資本財）を新規に組み入れました。ロケット打ち上げコストの低下を受けて、宇宙への人や貨物の輸送需要が高まると期待されています。同社は、宇宙への輸送・貨物運搬サービスの提供や、宇宙での研究や活動を支援する月のインフラ開発などにより、そうしたトレンドの恩恵を享受していくことができる優位な立ち位置にあります。米国航空宇宙局（N A S A）との契約を順調に実行していくことができれば、月に関するサービスの主要請負業者の地位を確立できるとみられます。これまでの契約の遂行状況はまちまちですが、N A S Aとの現行契約において着実に成果を達成することができれば、当ファンドによる確信度も高まっていくと期待されます。

一方、ユーライパス（ソフトウェア・サービス）を全売却しました。A I エージェントの台頭による恩恵が

期待されていましたが、売上の重要な要素である政府支出の鈍化や新たなエージェント戦略の遂行能力をめぐる不透明感などを受けて、より確信度の高い銘柄へと入れ替えるべく、保有を解消しました。

その他、3Dシステムズ（資本財）を全売却しました。現在3Dプリンティング業界は設備投資の低迷が続く環境下で逆風を受けており、この状況が現在の景気サイクルの後半まで続く可能性が高まっています。資本財・サービスセクターにおいて3Dプリンティング機器への大規模な投資に非常に慎重となっている足元の状況を踏まえて、当ファンドでは資金を他の分野にシフトさせており、経済環境が回復次第、再検討する予定です。

○今後の運用方針

当ファンドでは、宇宙産業は「離陸」目前と考えています。かつては独占企業主体かつ官僚的な業界でしたが、ロケットと人工衛星にかかるコストの下落により、現在ではそれが根底から覆されようとしています。ディープラーニング（深層学習）、モバイルコネクティビティ（無線接続）、センサー、3Dプリンティング、ロボット工学などの進歩の結果、これまで増加していた事業コストが減少に転じ始めており、これらによって、今後は人工衛星の打ち上げや、着陸が可能なロケットの開発などが劇的に増加する可能性があります。実際、地球の周回軌道に打ち上げられ作動している人工衛星は、2024年末時点でおよそ10,000基を超えていました。

衛星利用測位システム（GPS）ナビゲーションからクレジットカードの迅速なオーソリゼーション（利用枠確認）まで、人工衛星を経由するデータはすでに人々の目に見えないところで日常生活の基盤になっており、先進的な宇宙・衛星技術が提供するソリューションへの依存度は、これからますます高まる事になると思います。当ファンドでは、物流や警備、農業、電気通信、ドローンなどのシステムを劇的に変革し、そして、人類を火星に送り込むことまでも予想されているこの新しい宇宙時代へと人々を導く企業に投資し、その成長を享受したいと考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年6月8日～2025年6月9日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	円 9 (9)	% 0.041 (0.041)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 (保管費用)	4 (4)	0.020 (0.020)	(c) その他の費用＝期中のその他の費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	13	0.063	
期中の平均基準価額は、21,817円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○ 売買及び取引の状況

(2024年6月8日～2025年6月9日)

株式

		買付		売付	
国内	上場	株数	金額	株数	金額
内	上場	千株 18	千円 80,092	千株 139	千円 559,385
外	アメリカ	百株 19,855 (△28,996)	千アメリカドル 72,304 (△ 107)	百株 74,086	千アメリカドル 147,860
国	ユーロ	—	千ユーロ	—	千ユーロ
	ドイツ	—	—	1,174	538
	フランス	83	500	704	3,733
	オランダ	3	50	63	904
	香港	388	千香港ドル 540	7,270	千香港ドル 9,162

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2024年6月8日～2025年6月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	35,109,229千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	44,636,900千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.78

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月8日～2025年6月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2024年6月8日～2025年6月9日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年6月9日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当期末		
		株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円	
機械 (100.0%)				
小松製作所	496.8	375.4	1,681,041	
合 計	496	375	1,681,041	
銘柄数 <比率>	1	1	<3.5%>	

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)						
3D SYSTEMS CORP	百株 8,963	百株 —	千アメリカドル —	千円 —	資本財	
ARCHER AVIATION INC	29,683	21,638	22,049	3,194,926	資本財	
BWX TECHNOLOGIES INC	—	258	3,348	485,173	資本財	
DEERE & CO	179	153	7,957	1,153,028	資本財	
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	840	817	19,964	2,892,916	資本財	
HEICO CORP	210	159	4,850	702,847	資本財	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	221	168	3,844	557,122	資本財	
LOCKHEED MARTIN CORP	202	120	5,789	838,958	資本財	
MARKFORGED HOLDING CORP	35,272	—	—	—	資本財	
PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	2,344	1,708	21,825	3,162,542	ソフトウェア・サービス	
JOBY AVIATION INC	13,330	11,955	9,707	1,406,638	運輸	
TERADYNE INC	1,481	2,057	17,532	2,540,470	半導体・半導体製造装置	
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	110	108	5,408	783,726	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
UIPATH INC - CLASS A	3,760	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
UNITY SOFTWARE INC	1,746	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
ADVANCED MICRO DEVICES	—	566	6,581	953,688	半導体・半導体製造装置	
AEROVIRONMENT INC	1,460	1,146	21,879	3,170,301	資本財	
AMAZON.COM INC	449	584	12,485	1,809,182	一般消費財・サービス流通・小売り	
ANSYS INC	153	51	1,756	254,453	ソフトウェア・サービス	
ELBIT SYSTEMS LTD	224	114	4,798	695,240	資本財	
BLADE AIR MOBILITY INC	25,662	18,421	7,000	1,014,347	運輸	
GARMIN LTD	494	245	5,099	738,952	耐久消費財・アパレル	
ALPHABET INC-CL C	493	416	7,278	1,054,592	メディア・娯楽	
INTUITIVE MACHINES INC	—	3,568	4,178	605,505	資本財	
IRIDIUM COMMUNICATIONS INC	9,809	9,742	27,045	3,918,850	電気通信サービス	
KRATOS DEFENSE & SECURITY	13,594	7,686	31,105	4,507,219	資本財	
MATERIALISE NV-ADR	686	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
ROCKET LAB CORP	21,665	9,277	26,829	3,887,659	資本財	
SYNOPSYS INC	80	61	2,985	432,669	ソフトウェア・サービス	
TRIMBLE INC	3,295	2,162	15,616	2,262,819	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計	株数・金額	176,417	93,189	296,920	43,023,833	
	銘柄数<比率>	27	25	—	<89.3%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
MYNARIC AGNAMENS AKTIEN O N	1,174	—	—	—	資本財	
小計	株数・金額	1,174	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<-%>	
(ユーロ…フランス)						
DASSAULT SYSTEMES SE	2,104	1,582	5,117	844,968	ソフトウェア・サービス	
THALES SA	405	305	8,001	1,321,107	資本財	
小計	株数・金額	2,510	1,888	13,118	2,166,076	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<4.5%>	
(ユーロ…オランダ)						
AIRBUS GROUP SE	248	187	3,099	511,807	資本財	
小計	株数・金額	248	187	3,099	511,807	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.1%>	
ユ一口計	株数・金額	3,933	2,075	16,218	2,677,883	
	銘柄数<比率>	4	3	—	<5.6%>	

銘柄	期首(前期末)	当期末				業種等	
		株数	株数	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(香港) JD LOGISTICS INC	百株 27,453	百株 20,571	千香港ドル 25,014	千円 461,776	運輸		
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	27,453	20,571	25,014	461,776		
合計	株数・金額 銘柄数 <比率>	207,804	115,836	—	46,163,493		
		32	29	—	<95.8%>		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2025年6月9日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 47,844,534	% 99.0
コール・ローン等、その他	471,790	1.0
投資信託財産総額	48,316,324	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（46,538,110千円）の投資信託財産総額（48,316,324千円）に対する比率は96.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。1アメリカドル=144.90円、1ユーロ=165.11円、1香港ドル=18.46円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月9日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	48,316,324,421
株式(評価額)	408,545,579
未収配当金	47,844,534,525
未収利息	63,243,562
未収利息	755
(B) 負債	116,929,490
未払解約金	116,929,490
(C) 純資産総額(A-B)	48,199,394,931
元本	18,863,459,577
次期繰越損益金	29,335,935,354
(D) 受益権総口数	18,863,459,577口
1万口当たり基準価額(C/D)	25,552円

(注) 当ファンドの期首元本額は25,235,542,155円、期中追加設定元本額は1,185,490,954円、期中一部解約元本額は7,557,573,532円です。

(注) 2025年6月9日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・グローバル・スペース株式ファンド (1年決算型) 11,136,410,193円
- ・グローバル・スペース株式ファンド (年2回決算型) 6,593,821,740円
- ・グローバル・イノベーション株式ファンド (適格機関投資家向け) 1,033,399,635円
- ・グローバル・スペース株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回決算型) 74,320,803円
- ・グローバル・スペース株式ファンド (為替ヘッジあり・1年決算型) 25,507,206円

(注) 1口当たり純資産額は2.5552円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○損益の状況 (2024年6月8日~2025年6月9日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取配当金	310,497,200
受取利息	298,177,938
その他の収益	11,703,467
その他収益	615,795
(B) 有価証券売買損益	12,912,790,452
売買益	18,597,891,397
売買損	△ 5,685,100,945
(C) 保管費用等	△ 8,926,931
(D) 当期損益金(A+B+C)	13,214,360,721
(E) 前期繰越損益金	22,843,961,761
(F) 追加信託差損益金	1,737,126,987
(G) 解約差損益金	△ 8,459,514,115
(H) 計(D+E+F+G)	29,335,935,354
次期繰越損益金(H)	29,335,935,354

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2024年6月8日から2025年6月9日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

その他の変更について

- 当ファンドについて、2024年9月7日付けにて運用における参考指標の表記を「FactSet Global Extended Space Index (配当込、円ベース)」から「ファクトセット・グローバル・エクステンデッド・スペース・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)」に変更いたしました。なお、上記変更は表記の明確化を意図したものであり、参考指標のデータ自体は従前のものから変更ございません。
 - 日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。
- ※本書が、受益者の皆さまのお手元に届く際には、社名変更が行われている場合がありますので、ご留意ください。